(再評価)

資料 2-2-2

平成28年度第5回 関東地方整備局

# 一般国道17号 与野大宮道路

平成28年10月7日 国土交通省 関東地方整備局

# 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・そ の他の別
一般国道17号	与野大宮道路	∟=1.5km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
32, 500~39, 400	4	関東地方整備局

### ① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成28年度	
単純合計	173億円	7. 4億円	181億円
うち残事業分	28億円	4. 2億円	32億円
基準年における 現在価値(C)	254億円	2. 7億円	257億円
うち残事業分	25億円	1.5億円	26億円

### ② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計	
基 準 年	平成28年度				
供用年	平成33年度				
単年便益 (初年便益)	23億円	0.97億円	0.13億円	24億円	
基準年における 現在価値(B)	398億円	16億円	2. 3億円	416億円	
うち残事業分	142億円	4.1億円	2. 0億円	148億円	

### ③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 6
経済的純現在価値(事業全体)	160 億円
経済的内部収益率(事業全体)	5. 5%
費用便益比(残事業)	5. 7
経済的純現在価値(残事業)	122億円
経済的内部収益率(残事業)	21. 7%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	32,500~39,400 (台/日)	±10%	1.6 ~ 1.7
事業費	173億円	±10%	1.6 ~ 1.6
事業期間	27年	±20%	1.6 ~ 1.7

# ④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	32,500~39,400 (台/日)	±10%	5.3 ~ 6.0
事業費	28億円	±10%	5.1 ~ 6.3
事業期間	4年	±20%	5.5 ~ 5.9

### 交通状況の変化

# 事業名:与野大宮道路(事業全体)

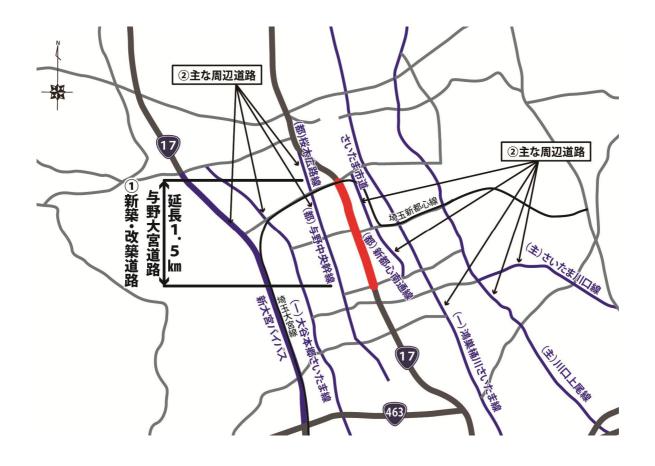
(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
<b>∄</b> ⊅⊆=ル . :	汝築道路:	交通量	[台/日]	19, 500	35, 900
[与野大宮道路] 1.5km		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	5. 39	10. 92
	( <del>-)</del>	交通量	[台/日]	28, 300	27, 100
	(主) さい たま川口 線:4.5km	走行時間	[分]	9	8
	195K . 4. JKIII	走行時間費用	[億円/年]	44. 57	41.82
		交通量	[台/日]	25, 700	25, 300
	(主)川口 上尾線: 3.1km	走行時間	[分]	7	7
	S. IKIII	走行時間費用	[億円/年]	33. 45	31. 28
	(一)鴻巣	交通量	[台/日]	22, 500	21, 800
	桶川さいた ま線:	走行時間	[分]	11	11
	6. 1km	走行時間費用	[億円/年]	48. 22	46. 08
		交通量	[台/日]	18, 700	17, 100
	(都)与野中央幹線:	走行時間	[分]	2	2
	1. 1km	走行時間費用	[億円/年]	7. 49	7. 02
	(一) 大谷	交通量	[台/日]	16, 900	15, 000
②主な周 辺道路	本郷さいた ま線:	走行時間	[分]	3	3
	1. 7km	走行時間費用	[億円/年]	9. 42	7. 52
		交通量	[台/日]	12, 100	7, 000
	(都)新都 心南通り 線:1.0km	走行時間	[分]	2	1
	病x: I. UKIII	走行時間費用	[億円/年]	4. 35	1.96
		交通量	[台/日]	24, 700	19, 300
	(都) 桜木 広路線: 0.7km	走行時間	[分]	1	1
	O. /Kill	走行時間費用	[億円/年]	3. 79	2. 44
		交通量	[台/日]	15, 600	5, 800
	さいたま市 道:0.7km	走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	2. 73	0.87
		交通量	[台/日]	78, 400	76, 200
	国道17号 新大宮BP 4.2km	走行時間	[分]	6	6
	4. ZNIII	走行時間費用	[億円/年]	83. 64	79. 27
	直路合計: .7km	走行時間費用	[億円/年]	5, 178. 42	5, 168. 75

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 445.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5, 421. 45	5, 397. 93	23. 52

<sup>※</sup> 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

#### (2)図面(①、②に該当する道路を明示)



### 交通状況の変化

# 事業名:与野大宮道路(残事業)

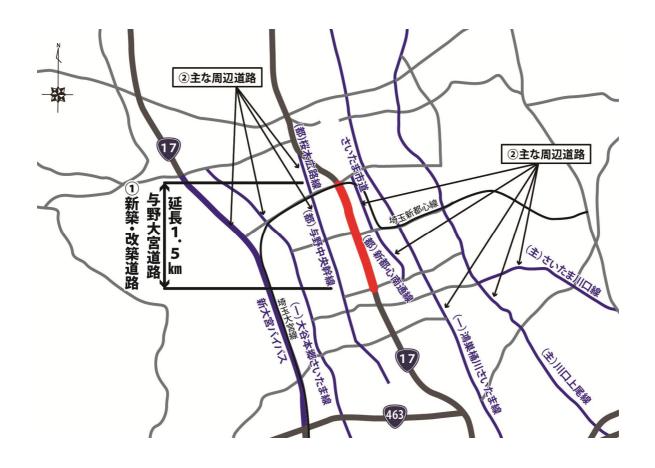
(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
<b>∄</b> ⊅⊆=ル . :	<b>小练、苦吹</b> .	交通量	[台/日]	27, 900	35, 900
①新設·改築道路: [与野大宮道路] 1.5km		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	7. 63	10. 92
	( <del>-)</del>	交通量	[台/日]	27, 800	27, 100
	(主) さい たま川口 線:4.5km	走行時間	[分]	9	8
	10K . 4. JKIII	走行時間費用	[億円/年]	43. 95	41.82
	(3)	交通量	[台/日]	25, 500	25, 300
	(主)川口 上尾線: 3.1km	走行時間	[分]	7	7
	S. IKIII	走行時間費用	[億円/年]	32. 02	31. 28
	(一)鴻巣	交通量	[台/日]	21, 800	21, 800
	桶川さいた ま線:	走行時間	[分]	11	11
	6. 1km	走行時間費用	[億円/年]	46. 14	46. 08
		交通量	[台/日]	17, 700	17, 100
	(都)与野中央幹線:	走行時間	[分]	2	2
	1. 1km	走行時間費用	[億円/年]	7. 18	7. 02
	(一) 大谷	交通量	[台/日]	15, 400	15, 000
②主な周 辺道路	本郷さいた ま線:	走行時間	[分]	3	3
	1. 7km	走行時間費用	[億円/年]	8. 03	7. 52
		交通量	[台/日]	11, 600	7, 000
	(都)新都 心南通り 線:1.0km	走行時間	[分]	2	1
	形: I. UKIII	走行時間費用	[億円/年]	3.49	1.96
		交通量	[台/日]	19, 400	19, 300
	(都) 桜木 広路線: 0.7km	走行時間	[分]	1	1
	O. /Kill	走行時間費用	[億円/年]	2. 45	2. 44
		交通量	[台/日]	5, 800	5, 800
	さいたま市 道:0.7km	走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	0.88	0.87
		交通量	[台/日]	76, 900	76, 200
	国道17号 新大宮BP 4.2km	走行時間	[分]	6	6
	+. ZNIII	走行時間費用	[億円/年]	80. 84	79. 27
	直路合計: .7km	走行時間費用	[億円/年]	5, 173. 71	5, 168. 75

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 445.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5, 406. 32	5, 397. 93	8. 39

<sup>※</sup> 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

#### (2)図面(①、②に該当する道路を明示)



# 費用便益分析の条件

事業名: 与野大宮道路

(2)

		項目	チェック欄
		費用便益分析マニュアル	_
	算出マニュアル	(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市·地域整備局)	-
		その他	
		分析対象期間	50年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	平成28年
	交通流の	1時点のみ推計	<b>■</b> (H42)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	₩₽₩₽	整備の有無のいずれかのみ推計	□有□無
	推計の状況	いずれかのみ いずれかのみの推計とした理由を記載 の推計の場合	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	
	+#=  ı = □ ı · +	(三段階推定法)	(H17センサス)
	推計に用いた OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	П
	ODA	(四段階推定法)	
		その他( )	
交		無	
通	開発交通量の 考慮	有	
流		考慮した開発交通量(トリップ数)	<ul><li>( )台トリップ/日</li></ul>
推計		有の場合のみ考慮した理由を記載	
		QーV式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法	
	配分交通量の	小規模事業である	
	推計手法	簡易手法の 採択理由 山間部海岸部で併行道路が少ない	
		その他( )	
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
		その他( )	
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定	
	速度設定の 考え方	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容 線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出 生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	3,2,3	最終配分の速度	
		採用理由を記載	
		その他( )	

(3)

			項目	チェック欄			
		考慮しない					
		考慮する					
	// n + vz o		面的に考慮				
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮				
	<u> </u>	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	( ) %			
		場口のの	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考える	<b>方を記載</b>			
		考慮しない					
		考慮する					
	災害等による		採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( )日			
	通行止めの		採用した週付正の日剱の考え方を記載 				
	影響	考慮する 場合のみ					
		场口0707	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合	┃			
			29年の文通で考慮しない場合はての理由、考慮した場合	はての考え力を記戦			
		考慮しない					
	冬期交通の 影響	考慮する					
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	<u> </u>			
压							
便益			冬期の走行速度と交通容量の関係				
の			設定の考え方を記載				
算定							
疋	交通流推計の	ブロック別・耳	車種別走行台キロの伸び率による設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	時点以外の	その他		П			
	便益の算定	(	)				
			折マニュアルの値を使用	<u> </u>			
	車種別時間	独自に設定し	した値を使用 ということ こうしゅうしん				
	価値原単位						
		弗田原光ハー	ビフェ _ フ !! の <i>は t は</i> 田				
	   車種別走行		折マニュアルの値を使用 - たはたは男				
	単性別足1]   経費原単位	独自に設定した値を使用					
	4.英亦一口						
		中央分離帯の	の有無を考慮				
	便益算定		の有無を考慮しない				
	走行時間短縮•走	考慮しない					
	行経費減少·交通	考慮する					
	事故減少以外の便 益						
	<u>ー</u> その他						
	1						

(4)

	項目						
		詳細事業計画	回による値を採用				
	事業費	標準投資パタ					
		その他(	)				
	<b>继性管理弗</b>	維持管理費の設	定根拠を記載				
	維持管理費	当該区間を管	管轄する事務所における直轄国道の維持管理費実績	こ基づき算出			
	雪寒費	積雪地域また	 :は寒冷地域である				
費		考慮しない					
用		考慮する					
の	小三十六六四年十十二六		事業費を考慮				
算定	当該道路整備が 行われない場合		維持管理費を考慮				
疋	の費用	考慮する	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方で	記載(対策内容、費用等)			
		場合のみ					
	その他	-					
4.	その他						
	***************************************						

筒所名:与野大宮道路 (事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円

箇所名:与野大宮道路	(事業生	È体)			単価(億円) 0.11	延長(km) 1.5	単純価値(億円) 0.16
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費 単純価値			費(億円) 現在価値
	H 6	2.3699	110.8	0.20	0.41	平心间记	が江岡旭
-26年目	H 7		109.9	0.77	1.50		
-25年目	H 8		109.5	6.04	11.28		
<u> </u>	H 9		110.4	1.57	2.79		
<u>--23年目</u> -22年目	H 10		109.9 108.4	17.08 14.76	29.37 24.74		
	H 12		107.2	32.18	52.47		
-20年目	H 13		105.7	36.05	57.31		
-19年目	H 14		103.8	19.09	29.71		
<u> </u>	H 15		102.3	5.92	8.99		
	H 16		101.0 99.6	2.37 3.88	3.51 5.59		
-15年目	H 18		98.7	0.81	1.13		
-14年目	H 19		97.6	0.60	0.82		
-13年目	H 20		96.8	1.34	1.77		
	H 21		95.6 93.7	0.63 0.71	0.81 0.90		
<u> </u>	H 23		93.7	0.71	0.90		
<u> </u>	H 24		91.3	0.10	0.11		
-8年目	H 25	1.1249	91.1	0.10	0.11		
<u> </u>	H 26		93.3	0.09	0.10		
<u> </u>	H 27		93.3	0.09	0.10		
	H 28		93.3 93.3	0.47 3.45	0.47 3.31		
	H 30		93.3	10.85	10.03		
<b>-2年</b> 目	H 31	0.8890	93.3	13.43	11.94		
-1年目 # B B 4 5 7 7	H 32		93.3	0.44	0.37		
供用開始年次	H 33		93.3 93.3			0.15	0.12
1年目 2年目	H 34		93.3			0.15 0.15	0.12 0.11
3年目	H 36		93.3			0.15	0.11
4年目	H 37		93.3			0.15	0.10
5年目	H 38		93.3			0.15	0.10
6年目 7年目	H 39		93.3 93.3			0.15 0.15	0.10 0.09
8年目	H 41		93.3			0.15	0.09
9年目	H 42		93.3			0.15	0.09
10年目	H 43		93.3			0.15	0.08
11年目	H 44		93.3			0.15	0.08
12年目 13年目	H 45		93.3 93.3			0.15 0.15	0.08 0.07
14年目	H 47		93.3			0.15	0.07
15年目	H 48		93.3			0.15	0.07
16年目	H 49		93.3			0.15	0.07
17年目	H 50		93.3			0.15	0.06
18年目 19年目	H 51		93.3 93.3			0.15 0.15	0.06 0.06
20年目	H 53		93.3			0.15	0.06
21年目	H 54		93.3			0.15	0.05
22年目	H 55		93.3			0.15	0.05
23年目	H 56		93.3			0.15	0.05
24年目 25年目	H 57		93.3			0.15 0.15	0.05 0.05
26年目	H 59		93.3 93.3			0.15	0.03
27年目	H 60		93.3			0.15	0.04
28年目	H 61		93.3			0.15	0.04
29年目	H 62		93.3			0.15	0.04
30年目 31年目	H 63		93.3 93.3			0.15 0.15	0.04 0.04
32年目	H 65		93.3			0.15	0.04
33年目	H 66	0.2253	93.3			0.15	0.03
34年目	H 67		93.3			0.15	0.03
35年目 36年目	H 68		93.3 93.3			0.15 0.15	0.03
37年目	H 70		93.3			0.15	0.03
38年目	H 71		93.3			0.15	0.03
39年目	H 72	0.1780	93.3			0.15	0.03
40年目	H 73		93.3			0.15	0.03
41年目 42年目	H 74		93.3 93.3			0.15 0.15	0.02 0.02
43年目	H 76		93.3			0.15	0.02
44年目	H 77		93.3			0.15	0.02
45年目	H 78	0.1407	93.3		_	0.15	0.02
46年目	H 79		93.3			0.15	0.02
47年目	H 80		93.3			0.15	0.02
48年目 49年目	H 81		93.3 93.3	-46.85	-5.64	0.15 0.15	0.02 0.02
<del></del>	02	0.1200	00.0	+0.00	0.04	0.10	0.02
合 計				126.27	254.13	7.41	2.72
単純事業費計				173.12		7.41	
注1)事業費の投資パター	. , , ===		0 = 1 Mr Az W		I=14.1.1.10.10		

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

箇所名:与野大宮道路 (残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

箇所名:与野大宮道路	3 (笈争未	:/			単価(億円) 0.11	延長(km) 0.8	単純価値(億P 0.09
		割戻率	GDP	事業費			費(億円)
年次	年度		テ゛フレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-27年目	H 6	2.3699	110.8				
-26年目	H 7	2.2788	109.9				
<u> </u>	H 8	2.1911	109.5				
<u> </u>	H 9 H 10	2.1068	110.4				
<u>-23年目</u> -22年目	H 10 H 11	2.0258 1.9479	109.9 108.4				
	H 12	1.8730	107.2				
<u> </u>	H 13	1.8009	105.7				
<u></u>	H 14	1.7317	103.8				
-18年目	H 15	1.6651	102.3				
-17年目	H 16	1.6010	101.0				
-16年目	H 17	1.5395	99.6				
<u>-15年目</u>	H 18	1.4802	98.7				
<u> </u>	H 19	1.4233	97.6				
<u> </u>	H 20	1.3686	96.8				
-12年目 -11年目	H 21 H 22	1.3159	95.6 93.7				
	H 23	1.2653 1.2167	93.7				
	H 24	1.1699	91.3				
	H 25	1.1249	91.1				
	H 26	1.0816	93.3				
<u> </u>	H 27	1.0400	93.3				
-5年目	H 28	1.0000	93.3				
-4年目	H 29	0.9615	93.3	3.45	3.31		
-3年目	H 30	0.9246	93.3	10.85	10.03		
<u> </u>	H 31	0.8890	93.3	13.43	11.94		
一 1年目	H 32	0.8548	93.3	0.44	0.37	0.00	0.0
供用開始年次 1年目	H 33 H 34	0.8219 0.7903	93.3 93.3			0.08	0.0
	H 35	0.7599	93.3			0.08	0.0
3年月	H 36	0.7307	93.3			0.08	0.0
4年目	H 37	0.7026	93.3			0.08	0.00
5年目	H 38	0.6756	93.3			0.08	0.0
6年目	H 39	0.6496	93.3			0.08	0.0
7年目	H 40	0.6246	93.3			0.08	0.0
8年目	H 41	0.6006	93.3			0.08	0.0
9年目	H 42	0.5775	93.3			0.08	0.0
10年目	H 43	0.5553	93.3			0.08	0.0
11年目	H 44	0.5339	93.3			0.08	0.04
12年目 13年目	H 45 H 46	0.5134 0.4936	93.3 93.3			0.08	0.04
14年目	H 47	0.4330	93.3			0.08	0.04
15年目	H 48	0.4564	93.3			0.08	0.04
16年目	H 49	0.4388	93.3			0.08	0.04
17年目	H 50	0.4220	93.3			0.08	0.04
18年目	H 51	0.4057	93.3			0.08	0.0
19年目	H 52	0.3901	93.3			0.08	0.0
20年目	H 53	0.3751	93.3			0.08	0.0
21年目	H 54	0.3607	93.3			0.08	0.0
22年目	H 55	0.3468	93.3			0.08	0.0
23年目 24年目	H 56 H 57	0.3335	93.3 93.3			0.08	0.0
24平日 25年目	H 58	0.3207	93.3			0.08	0.0
26年目	H 59	0.3065	93.3			0.08	0.0
27年目	H 60	0.2851	93.3			0.08	0.0
28年目	H 61	0.2741	93.3			0.08	0.0
29年目	H 62	0.2636	93.3			0.08	0.0
30年目	H 63	0.2534	93.3			0.08	0.0
31年目	H 64	0.2437	93.3			0.08	0.0
32年目	H 65	0.2343	93.3			0.08	0.0
33年目	H 66	0.2253	93.3			0.08	0.0
34年目	H 67	0.2166	93.3			0.08	0.0
35年目 36年目	H 68 H 69	0.2083	93.3 93.3			0.08	0.0
37年目	H 70	0.2003	93.3			0.08	0.0
38年目	H 71	0.1852	93.3			0.08	0.0
39年目	H 72	0.1780	93.3			0.08	0.0
40年目	H 73	0.1712	93.3			0.08	0.0
41年目	H 74	0.1646	93.3			0.08	0.0
42年目	H 75	0.1583	93.3			0.08	0.0
43年目	H 76	0.1522	93.3			0.08	0.0
44年目	H 77	0.1463	93.3			0.08	0.0
45年目	H 78	0.1407	93.3			0.08	0.0
46年目	H 79	0.1353	93.3			0.08	0.0
47年目	H 80	0.1301	93.3			0.08	0.0
48年目 49年目	H 81 H 82	0.1251 0.1203	93.3 93.3	-8.11	-0.98	0.08	0.0
<u>™</u> ∓₽	11 02	5.1200	00.0	0.11	0.00	0.00	0.0
스 된				20.05	0460	117	
合 計				20.05	24.68	4.17	1.5

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

**便益の現在価値算定表** 

(事業全体)

**新所名:与野大宮道路** 

計 (億円) 現在価値 割引率4% 24.24 24.29 24.34 24.39 24.39 24.55 24.60 24.65 24.45 24.26 24.06 23.87 23.67 23.28 23.28 22.89 22.70 22.50 22.31 22.31 22.31 22.31 21.14 20.94 20.75 20.55 20.36 20.16 20.16 19.97 18.41 21.33 9.58 9.38 9.19 18.99 18.80 18.61 便益合計 ŲΠ 現在価値③×(4) 事故減少便益(億円 0.10 0.80 0.74 0.74 0.69 0.66 0.66 0.059 0.059 0.057 0.057 0.059 0.030 0.030 0.020 0.020 0.020 0.020 0.020 0.18 0.16 0.15 0.14 0.14 0.17 0.12 0.10 現在価値 (A)×② 0.09 0.1 0.097 0.098 0.098 0.096 0.096 0.096 0.097 0.097 0.097 0.098 0.78 0.77 0.77 0.72 0.71 0.70 0.68 0.67 並 6 走行経費減少便益(億円) 、型貨物 0.83 0.82 0.81 0.80 0.80 0.73 0.74 0.75 0.75 0.73 0.072 0.070 0.060 0.067 0.065 0.060 0.059 0.059 0.059 0.050 0.050 0.050 0.85 0.85 0.85 0.85 0.85 0.85 0.86 0.86 0.86 0.53 0.52 0.51 0.51 35.60 0.550.54 18.98 16.98 16.98 16.98 16.98 17.59 17.29 17.29 17.30 18.87 17.30 18.87 19.97 19 2.26 2.15 2.04 1.94 7.62 現在価値 ①×(A) 21.49 21.30 22.130 20.93 20.93 20.93 20.19 20.19 19.64 19.64 19.64 19.64 19.64 19.82 19.82 19.82 19.83 23.14 23.19 23.23 23.33 23.34 23.47 22.97 22.97 22.97 22.04 21.86 21.86 18.16 走行時間短縮便益(億円) 3.80 3.81 3.82 3.83 80.12 普通貨物 3.52 3.53 3.54 3.55 3.55 3.56 3.36 3.40 3.43 3.46 3.50 3.51 3.58 3.60 3.60 3.62 3.62 3.63 3.65 3.65 3.65 3.66 3.68 3.69 3.51 33.10 33.10 33.00 33.00 33.00 33.00 33.01 30.01 30.01 30.01 30.01 30.01 30.01 30.01 2.44 2.42 2.40 2.38 2.37 2.35 2.33 16.78 16.81 16.81 16.89 16 11.81 11.63 11.46 11.28 11.11 10.93 11.98 GDP ∓^71−4 993.3 993.3 993.3 993.3 993.3 0.6246 0.6006 0.5775 0.5553 0.4936 0.1646 0.1583 0.1522 0.1463 0.7903 0.7599 0.7307 0.7026 0.6756 0.4564 割戻率 0.4220 0.2851 0.1852 0.1353 0.1301 0.1251 0.1203 0.533 0.5134 0.3901 3 00216 99193 99180 99166 99152 99115 0.99145 06066 00218 00217 00217 99159 0021 総走行台キロの年次別伸び率 小型貨物 00174 00174 00174 00173 00173 0.98744 0.98760001 年度 <sup>基準年)</sup> H28 1年目 2年目 3年目 4年目 6年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 12年目 13年目 14年目 15年目 16年目 17年目 17年目 19年目 20年目 20年目 22年日 23年日 25年日 25年日 25年日 27年日 28年日 30年日 30年日 31年日 32年目 33年目 34年目 35年目 36年目 37年目 40年目 41年目 42年目 43年目 44年目 46年目 47年目 48年目 49年目 38年目 39年目 45年目 年次

14.23

16.51

15.9

12.35

12.95

箇所名:与野大宮道路 (残事業)

計 (億円) 現在価値 割引率4% 8.72 8.73 8.75 8.68 8.55 8.48 8.41 8.34 8.27 8.21 8.14 8.00 8.00 7.93 7.87 7.80 7.59 7.53 7.39 7.32 7.26 6.98 6.92 6.85 8.61 7.66 7.12 6.64 便益合計 ŲΠ  $\begin{array}{c} 0.000 \\$ 現在価値 0.01 事故減少便益(億円 0.16 0.14 0.18 0.18 0.17 0.16 0.15 0.13 0.12 0.11 0.10 0.10 0.10 0.09 0.08 0.08 0.08 7.00 0.03 0.03 0.03 0.03 0.03 現在価値 (A)×② 0.20 0.20 0.19 # 6 走行経費減少便益(億円) 0.00 小型貨物 0.13 0.13 0.13 0.13 0.13 0.13 0.13 0.10 0.10 0.09 0.09 0.09 0.09 0.09 0.09 0.08 0.08 0.08 0.08 0.08 現在価値 (1)×(A) 88.25 88.20 88.30 88.33 88.33 88.38 88.38 88.30 88.20 88.20 88.20 77.74 6.49 6.42 6.36 6.29 6.23 6.16 走行時間短縮便益(億円) 1.22 1.23 1.23 1.24 1.24 1.25 1.25 1.25 1.26 1.26 1.26 1.27 1.27 1.27 1.30 1.31 1.32 普通貨物 1.30 1.29 1.28 1.28 1.26 1.26 1.25 1.25 0.98 3.80 GDP ∓^71√7 93.33 0.6246 0.6006 0.5775 0.5553 0.4936 0.1646 0.1583 0.1522 0.1463 0.8219 0.7903 0.7599 0.7307 0.6756 0.4564 割戻率 0.4220 0.2851 0.1852 0.1353 0.1301 0.1251 0.1203 0.533 0.5134 0.3901 3 00216 99166 99193 99180 99152 99115 0.99145 06066 99159 00218 00217 00217 0021 総走行台キロの年次別伸び率 01009 小型貨物 00174 00174 00174 00173 00173 0.98744 0.98760001 年度 <sup>基準年)</sup> H28 1年目 2年目 3年目 4年目 6年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 12年目 13年目 14年目 15年目 16年目 17年目 17年目 19年目 20年目 20年目 22年日 23年日 25年日 25年日 25年日 27年日 28年日 30年日 30年日 31年日 32年目 33年目 34年目 35年目 36年目 37年目 40年目 41年目 42年目 43年目 44年目 46年目 47年目 48年目 49年目 38年目 39年目 45年目 年次

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道17号	与野大宮道路	4	1.5km

### ■事業費内訳(全体事業費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					3,980	
	改良費				2,349	
		土工	m3	21,118	39	
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m <sup>*</sup>			
		擁壁工	式			
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	1,727	24	
		中央分離帯工	m	1,171	10	
		雑工	式	1	2,276	
	橋梁費					
		100m以上	m			
		100m未満	m			
	トンネル	費				
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC•JCT	費				
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				419	
		車道舗装	m <sup>*</sup>	15,661	388	
		歩道舗装	m <sup>*</sup>	6,327	31	
	付帯施設	<b>设</b> 費			1,212	
		交通管理施設工	式	1	1,212	
		遮音壁	m			
②用地及	補償費				11,448	
	用地費		m³	8,596	4,685	
		宅地	m <sup>°</sup>	8,596	4,685	
		田畑	m³			
		山林·原野	m³			
		その他	m³			
	補償費		式	1	6,763	
③間接費			式	1	2,573	
全体事業	 費				18,000	

#### 【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道17号	与野大宮道路	4	1.5km

### ■事業費内訳(残事業費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					101	
	改良費				34	
		土工	m3	5,000	9	
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m <sup>*</sup>			
		擁壁工	式			
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	780	11	
		中央分離帯工	m	595	5	
		雑工	式	1	9	
	橋梁費					
		100m以上	m			
		100m未満	m			
	トンネル	費				
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC•JCT	費				
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				55	
		車道舗装	m <sup>*</sup>	3,000	47	
		歩道舗装	m <sup>²</sup>	2,050	8	
	付帯施設	<b>设費</b>			11	
		交通管理施設工	式	1	11	
		遮音壁	m			
②用地及	補償費				2,529	
	用地費		m²	2,255	811	
		宅地	m³	2,255	811	
		田畑	m³			
		山林·原野	m²			
		その他	m²			
	補償費		式	1	1,718	
③間接費			式	1	346	
全体事業	.費				2,976	

#### 【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

### (事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道17号	与野大宮道路	4	1.5km

# ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.5	250	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	550	路面補修、構造物の点検・補修等
その他				
維持管理費合計			800	

#### 【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

#### (残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道17号	与野大宮道路	4	0.8km

# ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	0.8	150	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	300	路面補修、構造物の点検・補修等
その他				
維持管理費合計			450	

#### 【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

建土道計第 987 号 平成 28 年 9 月 26 日

国土交通省

関東地方整備局長 様

さいたま市長 清 水 勇



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案) の作成に係る意見照会について(回答)

貴職におかれましては、日頃から本市道路行政の推進につきまして、格別のご協力を 頂き厚くお礼申し上げます。

さて、平成 28 年 9 月 15 日付け国関整企画第 100 号で、御照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。





【道路事業】

	事業名	* .	「対応方針(原案)」 案※	さいたま市長の意見
-般国道17号	与野大宮道路		継続	一般国道17号与野大宮道路は、さいた新都心に隣接した中心市街地に位置し、埼京線北与野駅付近で鉄道と交差してお沿道にはマンション、事業所、学校などの共施設が多数立地しています。 一方で、2020年東京オリンピック・パラリピック競技大会開催において、さいたまスパーアリーナがバスケットボールの会場にしており、また、現在、さいたま新都や東大会院とびいることから、さいたま都心駅周辺地区西側の骨格形成を図り、通利便性をより一層向上させることが必要なっています。
				以上から、与野大宮道路については、大 駅からさいたま新都心駅周辺の中心市街地 を連携する4車線ネットワークの一部として 慢性的な渋滞緩和を図る上で重要な路線であることから、引続き整備継続頂けますよう お願い申し上げます。

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。